

# The Tokyo Tanuki Times

東京タヌキタイムズ

2009年12月号 通巻12号 毎月1日発行 購読無料

©MIYAMOTO Takumi,2009

責任編集：宮本拓海 発行：東京タヌキ探検隊！tokyotanuki.jp

## ネコセンサー発動だニャ！

タヌキを探すにはネコを見ろ



[写真左]暗闇に黒ネコでわかりにくいですが、画面右方向をじっと見ている。こういう場合、その方向にタヌキがいる。  
[写真右]食事に夢中になって、気がついたらタヌキがすぐ後ろにまで迫ってきていた！ネコはあわてて逃走、タヌキはネコエサにありついた。センサーも役に立たないことがある(手前左が黒ネコです)。

ネコセンサーといってもネコ型のキュートでラブリーな機械のことではありません。念のため。

私が毎年タヌキを観察している場所はネコのエサ場です。毎週のようにそこに通う私はネコたちにとってもしっかり顔なじみになってしまいました。タヌキはいつも私の目の前にいるわけではありませんので、ネコといっしょにいる時間の方がずっと長くなってしまいます。

### ネコにはタヌキが見えている

タヌキがいつ現れるかは予測できません。たいていはネコのお食事タイムに合わせて出てくるものですが、それよりも早かったり遅かったりもします。来るのか来ないのかわからないタヌキを待ち続けるというのはかなり退屈なもので、世間的には「時間のムダ」と言われるのは確実でしょう。

そういう時はとりあえずネコと遊んでいれば良さそうなものですが、このネコたちはあまり人間慣れしておらず、さわらせてもくれません

(今年になってようやく1頭がさわらせてくれるようになった)。仕方がないので、ネコの様子を観察するぐらいで我慢するしかありません。こうしてネコを見ていると、時々不思議な動作をすることに気づきました。ネコたちが真っ暗な方向をじっと見つめることがあるのです。私の目には何も見えません。ある時「もしや」と思った私は、ネコの見つめる方向に懐中電灯の光を向けてみました。そこに見えたのはオレンジ色に光る動物の目でした。そう、タヌキがこちらの様子をうかがっていたのです。人間には見えていなくてもネコにはタヌキが見えるのです。

その後も、暗闇を凝視するネコの視線の先を調べてみると、かなり確実にタヌキを発見できることがわかりました。ネコはタヌキをとて警戒しているため、接近してくるとすぐに反応します。つまりネコはタヌキの居場所を知らせてくれるセンサーの役を果たしてくれるのです。これを名付けて「ネコセンサー」というわけです。タヌキの出現を事前に察知できるのは観察にとってあり

がたいことです。ネコ君たちには本当に大感謝しなければなりません。

### だからネコとは仲良く

ネコセンサーを活用するには、なるべく近くにネコに居てもらう必要があります。ですからいっそうネコたちとは仲良くお付き合いをしなければならないのです。しかしこのネコたちはあまり人に慣れそうもないし、エサ担当でない私が餌付けするのも良くありません。ネコづきあいもなかなか難しいものです。まあとにかく、ご機嫌を損ねないようにしなければ…。私とネコたちとの微妙なお付き合いは今後も続く予定です。

### スポンサー枠

スポンサー募集中です！

東京都および周辺地域のタヌキ情報を集めています。

<http://tokyotanuki.jp>